

### 3. 基地の沿革

昭	15.	4.	旧陸軍飛行第5連隊（立川）附属多摩飛行場として設置、当時の滑走路は1,300m
	20.	9.	米軍（第一騎兵師団一個中隊）が進駐し、旧陸軍の施設を接收
	21.	8.	第3爆撃飛行大隊が進駐し、公式に基地が開設
	24.	7.	第41航空師団隷下第6102航空管理部隊が進駐し、第41航空師団第441戦闘支援部隊、第609偵察中隊等が配備
	25.	5.	第3爆撃飛行大隊がジョンソン基地（現：入間基地）に移動
		6.	朝鮮戦争を契機に滑走路が約2,400mに延伸され、B-29を主力とする第92、98爆撃隊、ジェット機を擁する第35戦闘機連隊が駐留、これに伴い騒音が激化
	27.	2.	横田基地所属のB-29が埼玉県入間郡金子村（現：入間市）に墜落、住民と搭乗員17名死亡、墜落時に送電線を切断し西多摩地域等で広範囲にわたり停電
	29.	1.	瑞穂町箱根ヶ崎の畑地にジョンソン基地のジェット機墜落、乗員2名死亡
		12.	瑞穂町長岡に米軍機墜落、乗員1名死亡
	30.	6.	第35戦闘機連隊の下に第40迎撃戦闘中隊（F-86）が配備
	31.	7.	町と国で横田基地の拡張に伴う「覚書」に調印
		8.	町との覚書により、滑走路拡張用地約376,000㎡を買収して提供し、さらにその隣地75,900㎡を借上げ、航空障害物制限区域を設定
	32.	10.	第35戦闘機連隊が解散
	33.	3.	国道16号及び八高線の移設、旧射撃場跡地へ瑞穂中学校の新校舎落成
	35.	11.	狭山市のジョンソン基地の滑走路施設返還によって、第41航空師団及び第3爆撃連隊がB-57爆撃機やF-102迎撃戦闘機を伴い移駐、滑走路が現在の3,350mに
	37.	1.	滑走路両側に接近灯（アプローチ・ライト）を設置
	38.	5.	横田基地所属のB-57爆撃機が埼玉県入間郡毛呂山町の病院に墜落、病院職員1名死亡
	39.	4.	第3爆撃連隊が米本国へ引揚げ
		5.	第8戦闘爆撃師団の第35・36及び第80戦術戦闘機中隊が板付空軍基地からF-105DとKC-135を伴って移駐し、第41航空師団の所属となった、また、第40迎撃戦闘中隊は、米本国に引揚げ
		7.	町及び町議会は、米軍のF105戦闘機の横田移駐に反対し、国に要望書を提出
	40.	4.	第6441戦術戦闘航空団が編成され、第35・36及び第80戦術戦闘機中隊、第6091偵察飛行隊が傘下に
	41.	11.	第6441戦術戦闘航空団が解散し、傘下の部隊は第41航空師団の所属に戻る
	42.	8.	瑞穂町議会騒音対策特別委員会で航空機の騒音調査を実施
	43.	1.	第41航空師団が解散、第347戦術戦闘機連隊が編成され、F4ファントムが配備
	44.	6.	瑞穂町議会騒音対策特別委員会が基地対策特別委員会に変更
		11.	町と議会は、F4ファントム機配備反対に関する要望書を国に提出
		12.	立川基地の航空機運行停止に伴い、第36航空救難救助中隊が移駐
	45.	5.	旧16ゲート部分約10,800㎡及び滑走路の南東側面17,000㎡を提供
		12.	町と議会は、超大型輸送機C-5Aギャラクシー飛来に伴う決議文を関係機関へ送付
	46.	5.	F-4ファントム戦闘爆撃機群が沖縄・米本国に移駐し、第347戦術戦闘機連隊は、沖縄

昭 46.	11.	の嘉手納基地第 18 戦術戦闘機隊に編入、第 6100 基地管理連隊が発足 第 6100 基地管理連隊は、第 475 基地管理連隊と改称し、更に米空軍横田基地在日管理司令部（第 475 航空団、475 <sup>th</sup> Air wing）と呼称することとなり、所沢、大和田通信施設等の米空軍施設の管理にも当ることとなった
47.	1.	関東地区の米軍施設を 3 年間で横田基地に整理統合することがロジャース米国防務長官との間で合意
	1.	議会は、関東地方の米空軍施設横田基地に統合反対決議
	2.	横田基地北側地域地区約 76,600 m <sup>2</sup> が追加提供
	3.	ミドルマーカー用地 437.50 m <sup>2</sup> 、電力線地域 259 m <sup>2</sup> 及び電波障害クリアランス地域 16,488 m <sup>2</sup> の計 16,747 m <sup>2</sup> が追加提供
	7.	B-727 のエンジンカバーが瑞穂町内に落下
48.	1.	第 14 回日米安全保障協議委員会において関東平野地区における空軍施設の大部分を横田基地に整理統合する関東空軍施設整理統合計画（KPCP）が決定
	1.	1 月 23 日の合意を受けて、瑞穂町議会の全員協議会は、町ぐるみの横田基地統合反対実行委員会を設置することを決定
	3.	横田基地統合反対実行委員会は町民の意向をくんで、関東空軍施設の横田基地統合反対決議文を関係機関に提出
	8.	武蔵村山市道 43 号線拡幅用地として土地の一部（227 m <sup>2</sup> ）が返還
49.	11.	在日米軍司令部及び第 5 空軍司令部が、府中空軍施設から移転
50.	3.	政府は、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき、横田飛行場を特定防衛施設に指定
50.	9.	第 374 戦術航空団傘下の第 345 戦術空輸部隊が沖縄の嘉手納基地から C-130E 16 機を伴い移駐
51.	4.	住民は、国を相手どり夜間飛行の差止め及び損害賠償請求（第 1 次公害訴訟）を東京地裁八王子支部へ提訴
	10.	CH-46 の窓枠が瑞穂町駒形富士山の民家に落下
52.	11.	第 2 次公害訴訟提訴
	11.	都道 2・1・5 号線用地としてアプローチライト部分 351 m <sup>2</sup> が返還
53.	3.	東住宅地区沿いの立川市道 1068 号線用地として 145 m <sup>2</sup> が返還
54.	8.	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第 4 条、第 5 条により、第一種区域（WECPNL85 以上）、第二種区域（WECPNL90 以上）が指定
55.	1.	横田基地常駐機 UH-1P に代わり、UH-1N が配備
	8.	熊川交差点拡幅用地として南側アプローチ用地 742 m <sup>2</sup> が返還
	9.	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第 4 条の規定により、第一種区域（WECPNL80 以上）が追加指定
56.	7.	横田基地騒音公害訴訟第 1 審判決（夜間飛行差止め却下）
	8.	法務省入国管理局横田出張所庁舎用地として 747 m <sup>2</sup> が返還
57.	6.	国道 16 号拡幅に伴い、横断歩道橋用地 23 m <sup>2</sup> が返還
	7.	第 1 次・第 2 次訴訟団の家族 605 名からなる第 3 次訴訟が東京地裁八王子支部に提訴
58.	1.	米空母ミッドウエーの艦載機による着陸訓練が開始

昭	58.	5.	『横田基地周辺市町基地対策連絡会』発足
	59.	3.	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第4条の規定により、第一種区域（WECPNL75以上）が追加指定
	60.	1.	横田基地常駐機T-39に代わって、C-21A 2機が配備
		9.	国道16号拡幅に伴う用地約39,000㎡が返還
	62.	7.	第1次・2次横田基地騒音公害訴訟控訴審判決（夜間飛行差し止め却下、損害賠償額積み増し）
平	1.	3.	第3次横田基地騒音公害訴訟判決（夜間飛行差し止め却下）
		9.	フィリピンクラーク基地から後方支援部隊の5部隊（第600空軍音楽隊、第1837電子機器設置隊第1派遣隊、太平洋通信師団分遣隊A班、第9航空医療救難飛行隊、第20航空医療空輸隊）がC-9 3機を伴い移駐
	12.		第21戦術空輸飛行中隊がC-130 4機を伴い移駐、また、第374戦術空輸航空団が横田へ配属となり、第316戦術空輸群司令部は解散し、C-130関係部隊は第345戦術空輸飛行隊と第21戦術空輸飛行隊となった
	3.	1.	湾岸戦争勃発、輸送機が中東に出動し、離着陸回数減少
	4.	4.	第475航空団と第374戦術空輸団が合併し、基地管理部隊として第374空輸航空団が活動を開始
	6.		羽田空港拡張に対応するため横田空域（関東西部から新潟、静岡両県にまたがる高度6,900m以下の空間）のうち、空域全体の10%に当たる、日野市から三浦半島にかけての南側一部が返還
	7.		引込線部分約16㎡が返還
	5.	2.	第1・2次横田基地騒音公害訴訟判決（夜間飛行差し止め棄却）
		5.	第3次横田基地騒音公害訴訟判決（夜間飛行差し止め却下）損害賠償額が確定
		5.	横田基地内北住宅地区の工事現場で、第2次世界大戦中で使用されたとみられる250kg爆弾の不発弾が発見（7月、陸上自衛隊により不発弾処理）
	10.		横田基地内において、貯油タンク内の航空機燃料 68kl（18,000ガロン、ドラム缶約340本分）が漏出したことが判明
	11.		第3次横田基地騒音公害訴訟に関する和解案が東京高裁から提示
	11.		横田基地で初めて艦載機の戦闘機、攻撃機の着陸訓練実施
	11.		日米合同委員会で、22時から明朝6時までの飛行制限が合意
	6.	2.	第3次横田基地騒音公害訴訟に関する和解協議決裂
		3.	第3次横田基地騒音公害訴訟東京高裁判決、原告、被告ともに上告断念
	11.		横田基地飛行差し止め訴訟団発足
	12.		横田基地飛行差し止め訴訟団東京地裁八王子支部に提訴、夜間飛行差し止め等請求
	7.	3.	在日米軍による防空演習（Air Defense Exercise, 95）実施
	10.		横田基地内航空機燃料漏出事故、在日米軍最終報告書発表
	10.		横田基地内航空機燃料除去作業開始
	8.	1.	横田基地内環境保全説明会及び航空機燃料漏出事故現場確認
		4.	新横田基地公害訴訟団東京地裁八王子支部へ提訴（原告過去最高3,138人、初めて米国も相手取る）

平	8.	4.	米軍機 (C-130) 砂袋を横田基地外緩衝地に誤投下
		5.	米軍機 (C-141) 着陸時ブレーキ故障により発煙
		5.	青島東京都知事横田基地視察、5市1町首長と意見交換、横田基地周辺市町基地対策連絡会に都の参画合意
	11.		『横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会』発足
	9.	2.	新横田基地公害訴訟団、東京地裁八王子支部へ二次提訴
		2.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、防衛施設庁関係機関への総合的要請実施、要望書提出
		3.	新横田基地公害訴訟却下「外国に裁判権及ばぬ」
		5.	横田基地常駐C-130輸送機7機を、平成9年10月以降、米本土(アラスカ州エルメンドルフ空軍基地)移駐を発表
		6.	沖縄海兵隊実弾砲撃演習先の本土移転に伴うチャーター便(日本民間機)横田基地へ着陸
	10.	7.	再度基地内の地下燃料庫より燃料漏出事故、漏出量はおおよそドラム缶1本分
		7.	米軍側が燃料漏出現場を公開
		10.	横田基地所属C-9が飛行中にエンジンカバーを紛失事故(後日エンジン火災を起こしていたことが判明)
		12.	横田基地所属米兵が福生市内で瑞穂町民に暴行、米兵は逮捕
		12.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、再発防止に関する要請
	11.	1.	暴行を行った米兵が傷害罪で起訴される
		4.	横田基地の基地返還・軍民共用を公約に掲げた石原慎太郎氏が都知事に就任
		4.	瑞穂町長、新都知事に基地返還賛成・軍民共用反対の要望書を提出
		5.	横田基地所属のC-130が、訓練中に砂袋を町田市内の民家に誤投下する事故
		5.	瑞穂町議会が、基地返還賛成・軍民共用反対の決議をし、決議文を都知事に提出
		6.	石原都知事、基地と瑞穂・昭島の騒音測定現場を視察
		6.	瑞穂町長が、基地司令官・防衛関係機関に対してヘリコプター訓練についての要請と、基地司令官に対し、軍民共用等に関する質問状を提出
		6.	昭島市長が、都知事に対して軍民共用反対の要請書を都知事に提出
		9.	町と議会で、国に対して軍民共用反対に関する陳情書を提出(以後、毎年実施)
		10.	都が『横田基地に関する調査』の概況調査報告書(基地に民間機が就航した場合の需要、騒音影響等)を発表
		11.	瑞穂町長が都知事に軍民共用反対の要望書を提出
	12.	7.	町と議会で、国に対して横田基地に関する要望活動(以後、毎年実施)
		9.	都と5市1町でNLP中止要請
		9.	空母キティホーク艦載機による着陸訓練(NLP)で、周辺住民から400件以上の苦情(以降、実施実績なし)
		9.	町と議会、都と5市1町でNLPに対する抗議
	13.	1.	町と議会で、国、東京都に対して軍民共用化に反対する陳情
		2.	町と議会で、国及び米軍に対してNLP中止要請
		3.	滑走路改修工事を開始

平	13.	9.	米軍機 C-17 から部品が落下し、羽村市内工場の屋根を破損する事故
		9.	米同時多発テロ発生、横田基地が厳戒態勢に
		9.	東京都が総合防災訓練の会場として初めて横田基地を使用
	14.	4.	新横田基地公害訴訟、上告棄却（米政府に裁判権及ばない）
		5.	5 月から 11 月までほぼ毎月訓練（ビバリーモーニング）が実施される
		5.	新横田基地公害訴訟判決（飛行差止却下、騒音被害過去分→一部賠償命令、将来分→却下）
		7.	滑走路改修工事完了
		8.	台風 13 号の大雨により、殿ヶ谷地区の農地に雨水が流入
		8.	横田基地日米友好祭の戦闘機による展示飛行に対して都と 5 市 1 町で抗議
	10.		台風 21 号の大雨により、殿ヶ谷地区の農地に雨水が再流入
	15.	1.	殿ヶ谷地区の雨水流出現場暫定措置が完了
		1.	第 374 空輸航空団ウエーバリング副司令官の提案により第 1 回横田基地助役会が開催（平成 19 年以降は、副市町長会として開催）
		3.	福生市方面の時限発射装置から基地へ飛しょう弾が発射
		8.	基地北側にあるヘリパッドから南に約 1.7km の場所に、ヘリパッドを新設
		9.	C-9 が退役
	12.		国による住宅防音工事における太陽光発電システム設置工事（モニタリング事業）始まる（平成 18 年に終了）
	16.	2.	横田基地周辺市町基地対策連絡会で、国、在日米軍に総合要請
		5.	米軍機 C-130 が埼玉県においてエンジンのテールパイプを落下させる事故
		6.	町が、アメリカ大使館に米軍横田基地の軍民共用化に反対する陳情活動
		8.	米軍機 UH-1N が横浜市内のヘリポートにエンジントラブルのため予防着陸
		8.	米軍機 C-130 が横田基地友好祭においてヘルメットを瑞穂地内に落下させる事故
		8.	横田基地管理下の所沢通信施設内において、発電機用燃料の軽油漏れ事故
	10.		新潟県中越地震の被害者支援のため、東京都と横田基地周辺 5 市 1 町の支援物資が米軍の輸送機により横田基地から新潟空港に輸送
		11.	米軍機 UH-1N が沼津市内の野球場にエンジントラブルのため予防着陸
		11.	米軍機 UH-1N が調布飛行場に電気系統のトラブルのため予防着陸
		12.	町と議会で、国に対して横田基地の住宅防音工事対象区域の拡充について要請活動
	17.	2.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、横田飛行場に係る住宅防音工事対象区域の見直しについて要請活動
		5.	米軍機 UH-1N が富士山付近のスキーリゾート駐車場にエンジントラブルのため予防着陸
		7.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、横田基地所属米兵による強盗事件にかかる規律の厳正な保持の要請活動
		10.	住宅防音工事対象工事区域である第一種区域の一部指定区域解除の告示
		10.	日米安全保障協議委員会（2+2）において在日米軍再編に係る中間報告
		11.	新横田基地公害訴訟高裁判決（飛行差止→棄却、将来分損害賠償→却下（一部認定）、危険への接近→不適用、過去分損害賠償額 約 32 億 5 千万円）
	18.	2.	横田基地周辺市町基地対策連絡会で、国、在日米軍に総合要請（平成 24 年まで毎年実施）

平	18.	2.	在日米軍再編に関する中間報告における横田飛行場の航空自衛隊との共同使用について概ね容認を表明
		5.	日米安全保障協議委員会（2+2）において在日米軍再編に係る最終合意がなされる
	10.		横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、基地周辺対策の見直しに対する要望活動
	19.	3.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法等に関する要望活動
		5.	横田空域管制施設への自衛隊管制官併設を開始
		6.	米軍機 UH-1N が横浜市 of サッカー場にトランスミッション不調のため予防着陸
		6.	町が八都県市首脳会議に対し、横田飛行場の民間航空利用等の早期実現に向けての要望に対する抗議文を提出
		6.	C-21 から C-12 へ横田基地常駐機が変更
		9.	横田基地内給油場で燃料漏れ事故
		10.	町と議会で、アメリカ大使館に米軍横田基地の軍民共用化に反対する陳情活動
		11.	国連軍後方司令部がキャンプ座間から横田基地へ移転
		12.	米軍機 UH-1N が新座市の朝霞駐屯地にトランスミッション不調のため予防着陸
	20.	1.	航空自衛隊航空総隊司令部庁舎移転工事始まる
		2.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、沖縄県における米海兵隊員の女子中学生暴行事件を受けて周辺住民の安全確保等について要請活動
		6.	米軍機 UH-1N が相模原市の川原にトランスミッション不調のため予防着陸
		6.	横田基地に輸送及び整備に関する指揮司令を行う第 5 1 5 航空機動運用群が発足
		7.	米軍機 UH-1N が立川市又は昭島市（場所不明）にペットボトルを落下させる事故
		7.	米軍機 C-130 が埼玉県においてアンテナを落下させる事故
		8.	横田基地周辺市町基地対策連絡会で、国に対し防音対策事業採択に関する要請活動
		9.	横田空域が一部返還される
	21.	1.	横田基地内の国防財務会計事務所で火災
		4.	第 4 次横田基地騒音公害訴訟上告棄却
		12.	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、防衛施設周辺対策制度の見直しについて要望活動
	22.	7.	横田基地内で航空機への給油中に燃料漏れ（約 40 ガロン）、大半は回収
		9.	横田基地所属ヘリコプター（UH-1N）が調布飛行場にエンジントラブルのため予防着陸
	23.	1.	横田基地所属軍人が飲酒運転で人身事故を起こし逮捕
		3.	東日本大震災に際し、「トモダチ作戦」司令部を横田基地に設置（～4 月）、米軍及び豪空軍が横田基地より支援活動を行う
	24.	2.	横田基地所属軍属等が福生市内で強盗傷害事件を起こし逮捕
		3.	航空自衛隊航空総隊司令部が横田基地への移転を完了し、運用を開始
		4.	横田基地所属軍人が港区内で傷害事件を起こし現行犯逮捕
		12.	第 9 次横田基地公害訴訟原告団が東京地裁立川支部へ提訴
		12.	猪瀬直樹氏が東京都知事に就任、軍民共用化政策を継承すると表明
	25.	3.	第 2 次新横田基地公害訴訟原告団が東京地裁立川支部へ提訴

平	25.	7.	横田基地所属軍属とその家族が福生市内で傷害事件を起こし逮捕、被害者は8月に死亡
		7.	横田基地所属のC-130が飛行中に部品紛失（場所不明）
		9.	横田基地所属軍人が武蔵村山市内で交通事故、住民1人が重傷
	11.		横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会で、国に、翌月には在日米軍に、総合要請（以後、毎年実施）
	26.	2.	舛添要一氏が東京都知事に就任、軍民共用化政策を継承
		7.	MV-22 オスプレイが、横田基地に初めて飛来
		11.	航空自衛隊横田基地協力会瑞穂支部設立
	27.	5.	米国防省が、2017年後半から2021年までの間に、CV-22 オスプレイ計10機を横田基地に配備することを発表
		9.	横田基地関係車両が福生市内において空薬きょう等の散乱事故
	28.	2.	横田基地所属UH-1が調布飛行場に予防着陸
		4.	横田基地所属UH-1がキャンプ富士に予防着陸
		8.	小池百合子氏が東京都知事に就任、軍民共用化政策を継承
		8.	台風9号により、横田基地から雨水、砂利等が流出
		10.	横田基地所属UH-1が、富山空港に予防着陸
	29.	3.	横田基地所属C-130の整備中に、約100ガロンの燃料漏れ
		3.	米国防省が、CV-22 オスプレイの横田基地配備を、2020米会計年度（2019年10月～2020年9月）に延期することを発表
		5.	米空軍のグローバルホークが横田基地に一時展開（～10月）
		5.	横田基地所属軍属が福生市内で酒気帯び運転による交通事故
		7.	横田基地所属のC-130が飛行中に部品紛失（場所不明）
		8.	町が、米軍及び国に対して横田基地周辺における海兵隊所属ヘリコプターの飛行訓練について要望活動
	10.		第2次新横田基地公害訴訟原第一審判決（飛行差止、将来分損害賠償→却下、過去分損害賠償額 約6億2千万円）
		11.	横田基地所属C-130の物料投下訓練中の横田基地内への物資誤落下
		12.	横田基地所属C-130が飛行中に部品紛失（場所不明）
	30.	1.	横田基地所属軍属が羽村市内で酒気帯び運転による交通事故
		4.	在日米軍が、CV-22 オスプレイを、今年（平成30年）の夏頃に5機、今後数年間で段階的に計10機、横田基地に配備することを発表
		4.	CV-22 オスプレイが、横田基地に初めて一時飛来
		4.	横田基地所属C-130が人員降下訓練中、パラシュート誘導傘が羽村第三中学校に落下
		4.	横田基地所属C-130HがC-130Jに交代完了
		6.	町が、国に対して防衛施設周辺放送受信事業の見直しに関する国の対応について要望活動
	10.		5機のCV-22 オスプレイが、横田基地に正式配備
	10.		国から、CV-22 オスプレイ部隊用施設の工事に伴い、瑞穂町域に新たに工事車両用ゲートを設置予定との通知
		11.	第9次横田基地公害訴訟原判決（米軍機飛行差止→棄却、自衛隊機飛行差止、将来分損害賠償→却下、過去分損害賠償額 約9千5百万円）

平	31.	1.	横田基地所属 C-130 が人員降下訓練中、パラシュート誘導傘を紛失、基地外へ落下したと思われる事故
	31.	4.	政府が基地軍民共用化を米側へ打診したことを受け、町が、横田基地の軍民共用化に反対する要望書を提出
令	元.	5.	横田基地所属軍人が福生市及び羽村市内で酒気帯び運転による交通事故
		5.	横田基地第 374 空輸航空団所属の人員が千葉県内で酒気帯び運転による交通事故
		10.	横田基地所属軍人が福生市で酒気帯び運転による交通事故
	2.	1.	第 9 次横田基地公害訴訟（控訴審）東京高裁判決（飛行差止、将来分損害賠償→却下、過去分損害賠償額 1 億 1,200 万円）
		4.	新型コロナウイルス感染症の拡大により在日米軍司令部による公衆衛生緊急事態宣言
		6.	横田基地所属 CV-22 オスプレイが飛行中に部品遺失（場所不明）
		7.	横田基地での人員降下訓練実施中に、立川市内にパラシュート落下
			横田基地での人員降下訓練実施中に、福生市内にフィンの落下
			横田基地所属軍属が奥多摩町で酒気及び運転による交通事故
			横田基地所属空軍兵が立川市で酒気及び運転による交通事故
		8.	CV-22 オスプレイ部隊用施設の工事に伴う工事車両用ゲート設置完了、使用開始
		10.	横田基地所属軍属が福生市で酒気及び運転による交通事故
	3.	1.	第 9 次横田基地公害訴訟最高裁上告棄却決定
		4.	横田基地関係者（日米地位協定が適用されるメンバー）があきる野市内で酒気及び運転による交通事故
		6.	横田基地所属 CV-22 オスプレイが山形空港に予防着陸
		7.	在日米軍より、CV-22 オスプレイの横田基地配備について、新たに 1 機が到着したと発表
		9.	横田基地所属 CV-22 オスプレイが仙台空港に予防着陸
		12.	横田基地所属 CV-22 オスプレイが館山航空基地に予防着陸
	4.	8.	横田基地所属空軍人が福生市で酒気及び運転による交通事故
			米空軍が、安全上の事故が相次いでいることを受け、米空軍特殊作戦軍所属 CV-22 オスプレイ全機の地上待機を発表
		9.	米空軍特殊作戦軍所属 CV-22 オスプレイの地上待機を解除、運用再開
		10.	横田基地所属 CV-22 オスプレイが南紀白浜空港へ予防着陸
		11.	横田基地関係者が福生市内で酒気帯び運転による交通事故
	5.	1.	町が、米軍及び国に対して横田基地における CV-22 オスプレイの飛行について要望活動
		4.	横田基地所属 C-12 が飛行中に部品紛失（場所不明）
		5.	横田基地関係者が豊島区内で酒気帯び運転による交通事故
		7.	IHI 瑞穂工場において、F-35 エンジンの整備拠点（リージョナル・デポ）の運用を開始
			横田基地における泡消火薬剤の漏出について、国が、2010 年から 2012 年までの間に 3 件の漏出を確認したと発表
		8.	横田基地所属ヘリコプター（UH-1N）が調布飛行場に予防着陸
		9.	町が、米軍及び国に対して横田基地における CV-22 オスプレイの飛行について要望活動
		11.	鹿児島県屋久島沖合で横田基地所属 CV-22 オスプレイが墜落
		12.	CV-22 オスプレイの運用停止

